2019年3月期 第2四半期決算説明会

- 1. 第2四半期決算の概要(連結)
- 2. 通期の業績見通し
- 3. 当社の経営戦略

2018年11月7日

日本光電工業株式会社

証券コード: 6849

https://www.nihonkohden.co.jp

Fighting Disease with Electronics



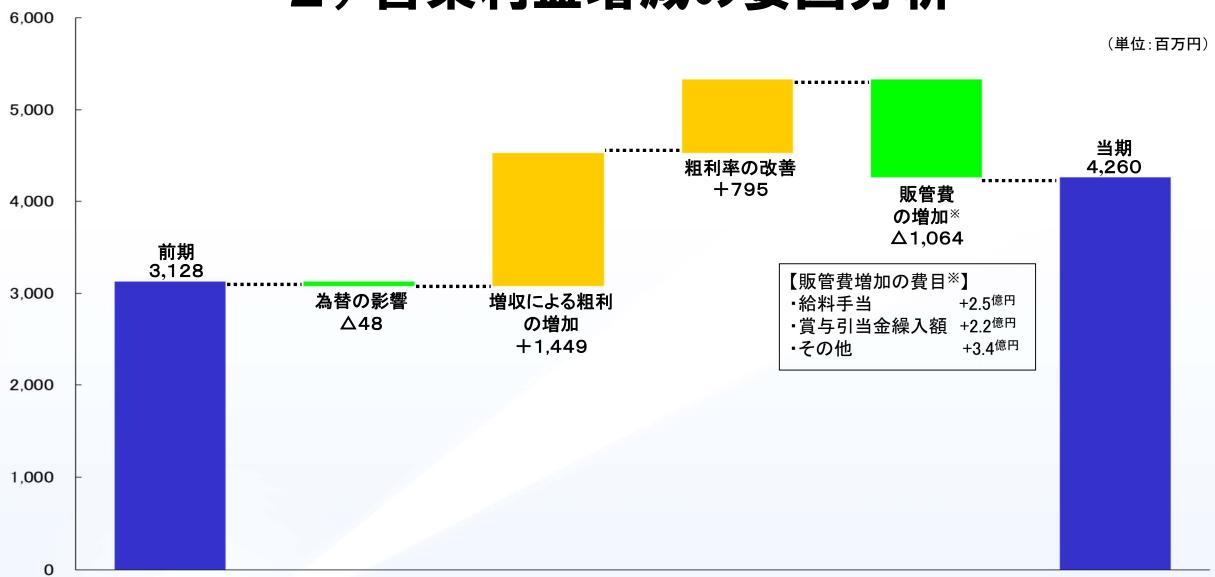
1

第2四半期決算の概要(連結)

1) 当第2四半期の決算概要

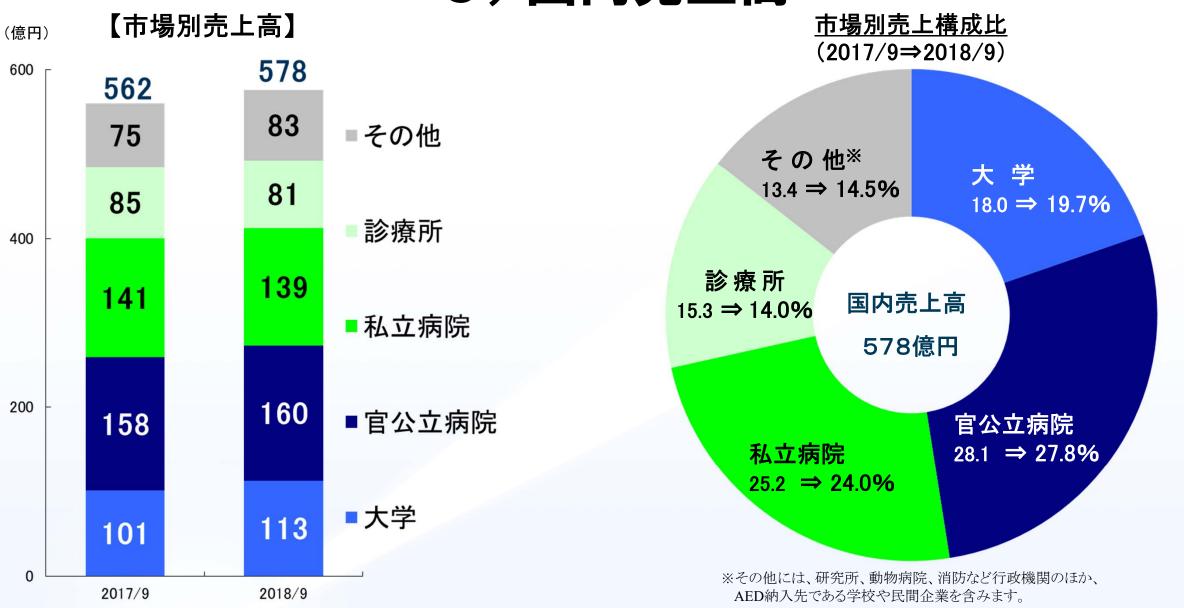
当第2四半期 (単位:百万円、単位未満切捨て) 前第2四半期 累計(2018/9) 累計(2017/9) 対前年同期 実績 期初予想 増減率(%) 売上高 80.000 79.050 3.1 76.648 国内売上高 56,241 57.857 2.9 海外売上高 為替影響除く:+4% 20,407 21,192 3.8 自社品 2017/9 2018/9 売上総利益 36,500 38,649 5.9 ← 売上比率 63.1% 64.1% (売上総利益率) 47.6% 48.9% 営 業利益 3,128 36.2 3.100 4,260 (営業利益率) 4.1% 3.9% 5.4% 2017/9 2018/9 常 利 益 経 3,722 3,100 5.270 41.6 ← 為替差益 257百万円 701百万円 親会社株主に帰属する 54.1 2,541 2.100 3,916 四半期純利益 均 (2017/9)(2018/9)┝ 111.3円 109.7円 ル 126.1円 129.2円 ュ 口

2) 営業利益増減の要因分析

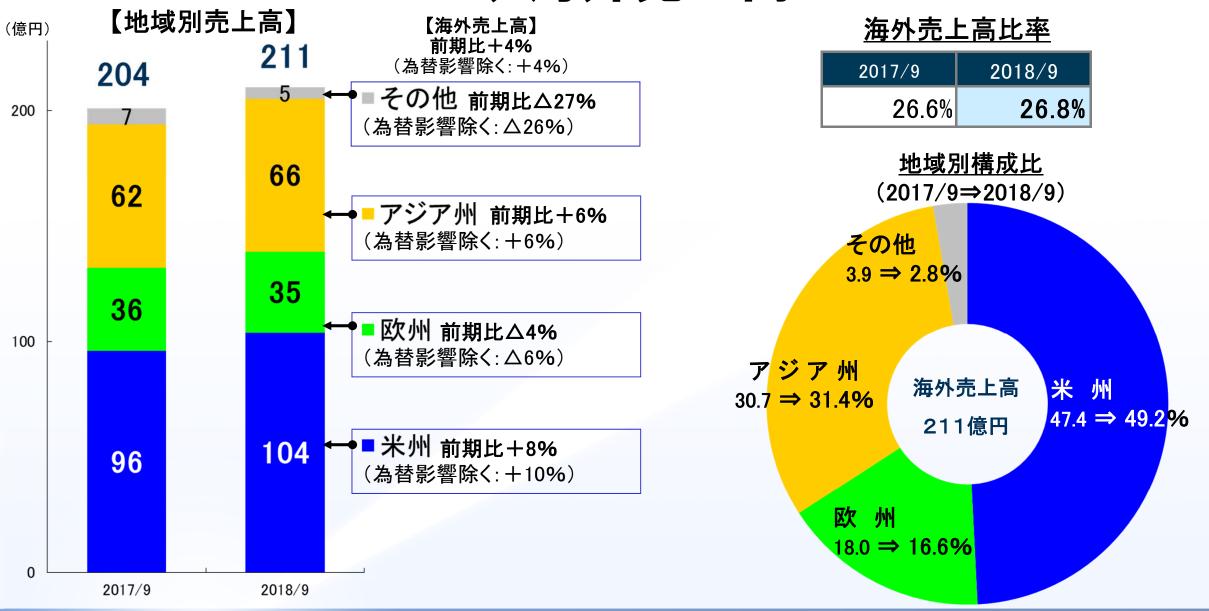


※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、 「販管費増加の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増加金額を表しています。

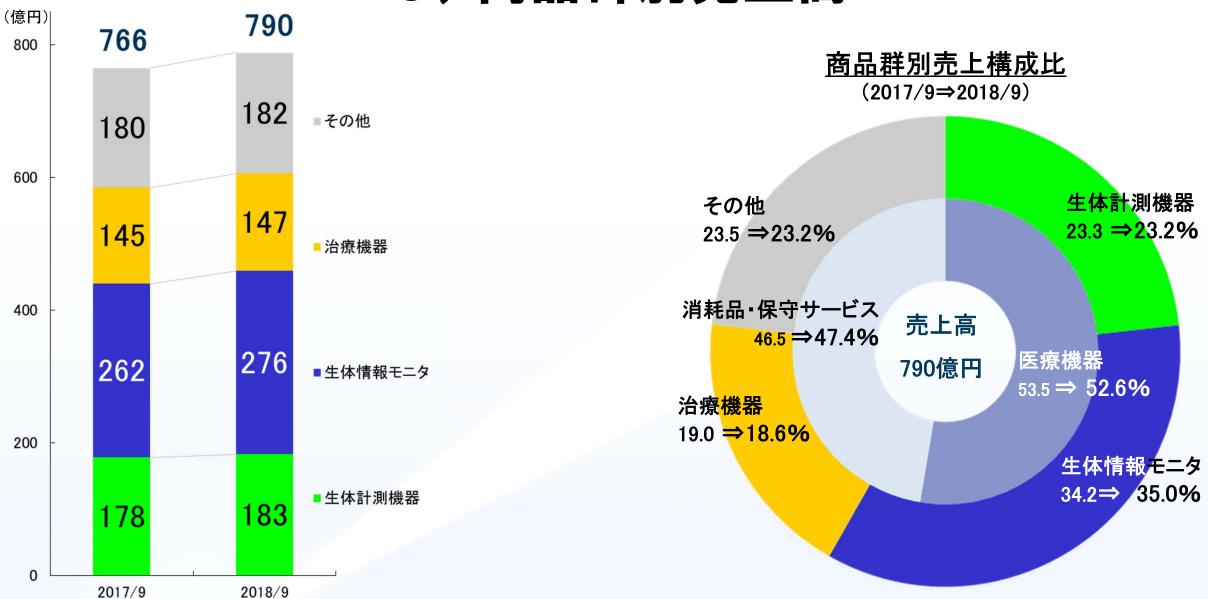
3)国内売上高



4)海外売上高



5)商品群別売上高



5.1) 生体計測機器

						前第2四半期 累計(2017/9)	当第2四半期 累計(2018/9)	増減率(%)
脳	神	経	系	•	群	3,315	3,448	4.0
心	1	Ē	計		群	3,077	3,281	6.6
心	臓カテ・	ーテル	検査	装置	群	6,552	6,902	5.3
70	の他(診	断情報	システ	ム等) [*]	4,888	4,719	△ 3.5
生	体 計	測	幾 器	合	計	17,833	18,351	2.9
う	ち国	内	売	上	高	14,264	14,387	0.9
う	ち海	外	売	上	高	3,568	3,964	11.1

(単位:百万円)

- 脳神経系群、心電計群、心臓カテーテル検査 ◆◆装置群、診断情報システムともに堅調に推移
- → 脳神経系群は米州、心電計群はアジア州で 好調に推移

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



筋電図・誘発電位 ワイ 検査装置 MEB-9400 ユニュ



ワイヤレス入力 ユニット WEE-1200



心電計 ECG-2400



ホルター心電計 RAC-5000



臨床用ポリグラフ RMC−5000



医療介護ネットワーク システム LAV-1000

5.2)生体情報モニタ

								前第2四半期 累計(2017/9)	当第2四半期 累計(2018/9)	増減率(%)
ß	生	体	情幸	日七	<u> </u>	タ合	計	26,248	27,667	5.4
	う	ち	围	内	売	上	高	16,148	16,718	3.5
	う	ち	海	外	売	上	高	10,100	10,948	8.4

(単位:百万円)

臨床情報システムの更新商談が増加、 センサ類などの消耗品も好調

→米州での売上が大幅に伸長、アジア州も 堅調に推移



ベッドサイドモニタ CSM-1901





CSM-1501



CSM-1502







CSM-1702









プローブ バイトブロック

cap-ONE 心電図 雷極

消耗品関連

送信機 ZS-640P

※日本光電独自の血圧測定アルゴリズム。血圧カフを締め付けすぎず、短時間で測定。

5.3) 治療機器

	前第2四半期 累計(2017/9)	当第2四半期 累計(2018/9)	増減率(%)
医 科 向 け 除 細 動 器	2,572	2,453	△ 4.6
A E D	6,694	7,031	5.0
ペースメーカ・I C D	1,593	1,558	△ 2.2
人 工 呼 吸 器	934	993	6.4
そ の 他	2,752	2,704	Δ 1.7
治療機器合計	14,546	14,741	1.3
うち国内売上高	10,143	10,528	3.8
うち海外売上高	4,402	4,213	△ 4.3
(参考) A E D 販売台数	38,900台	44,200台	13.6
うち国内販売台数	20,000台	24,700台	23.5

(単位:百万円)

【国内】前年同期並み

【海外】欧州、アフリカ市場で低調に推移

【国内】増設・更新需要の回復により 販売台数増加

【海外】米州、欧州で低調に推移



除細動器 TEC-5600シリーズ



AED AED-3100



心臓ペースメーカ Zenex MRI



人工呼吸器 HAMILTON-C1



CPRアシスト CPR-1100

5.4) その他

	前第2四半期 累計(2017/9)	当第2四半期 累計(2018/9)	増減率(%)	(参考) 比較可能 ベース
検体検査装置	5,033	4,234	△ 15.9	3.4
画像診断装置、 研究用機器他 [※]	12,986	14,055	8.2	0.8
その他合計	18,019	18,290	1.5	
うち国内売上高	15,684	16,223	3.4	
うち海外売上高	2,335	2,066	△ 11.5	

(単位:百万円)

──◆【国内】区分変更の影響を除くと堅調。 新製品が寄与 【海外】中南米、欧州、アジア州で増収

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

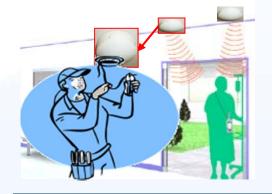
2019/3期から従来「検体検査装置」に区分していた他社製検体検査装置と画像診断装置のセット商談を「画像診断装置、研究用機器他」に区分しています。



全自動血球計数器 MEK-9100



全目動血球計数· 免疫反応測定装置 MEK-1303



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2018/3	当第2四半期末 2018/9	増減額		前期末 2018/3	当第2四半期末 2018/9	増減額
流動資産	120,687	115,309	△ 5,377	流動負債	44,601	36,688	△ 7,912
たな卸資産	23,098	26,623	3,524	有利子負債	488	408	△ 79
有形固定資産	20,324	20,203	△ 121	固定負債	3,953	4,164	211
無形固定資産	5,079	4,761	△ 318	純資産	109,355	112,671	3,316
投資その他資産	11,818	13,250	1,432				
資 産 合 計	157,910	153,525	△ 4,385	負債・純資産合計	157,910	153,525	△ 4,385
たな卸資産回転月数	3.0ヵ月	3.5ヵ月		自己資本比率	69.3%	73.4%	

【たな卸資産増加理由】

- ・製品在庫が増加(+3,341百万円)
 - →例年と同様、売上の年度末集中の影響
 - →下期新製品生産開始に備え、生産平準化
 - →出荷待ち在庫が増加

7)設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

		前第2四半期	当第2四半期	2018/3	2019/3予想				
					累計(2017/9)	累計(2018/9)	前期実績	期初	11月2日修正
設	備	投	資	額	1,003	1,375	3,430	4,000	3,900
減	価	償	却	費	1,571	1,630	3,338	3,900	3,800
研	究	開	発	費	3,772	3,741	7,226	8,500	8,000

【設備投資の上期実績】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

【期初計画と11/2修正計画との差異】

•研究開発費

△5億円

•維持•改良費※ +5億円

※市場投入後新製品の機能追加・改良に係る開発費用

【2019/3期設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、基幹システムのサーバ更新

2

通期の業績見通し

1)経営環境

玉 内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

2018年4月 診療報酬改定 本体0.55%増

【病院】入院医療評価体系の再編・統合

【診療所】オンライン診療、かかりつけ医機能強化加算の新設

- 各都道府県は地域医療構想調整会議で個別の病院名や 転換病床数等の具体的対応方針を2018年度末までに協議
- •地域医療介護総合確保基金 2018年度 934億円(医療)
 - 病院は、診療報酬改定、地域医療構想に沿って 病床再編を具体化
 - ・在宅医療の担い手である診療所は堅調に推移

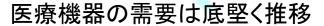
海 外

欧米諸国

- ・医療の質と効率性の向上
- 米国IDN^{※1}の拡大
- ・欧州GPO※2など集中購買の広がり

新興国

- 一部地域で政治・政策動向に不透明感が あるものの、景気は総じて堅調
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備



2) 下期の取り組み TRANSFORM 2020 高収益体質への変革

1

高い顧客価値の創造

※CSM-1500/1700、MEK-1303は発売済。その他は2018年度下期発売予定





2)下期の取り組み TRANSFORM 2020 高収益体質への変革

2

組織的な生産性の向上

開発

充実した研究開発・ 試験環境の活用



総合技術開発センタ

生産•物流

東日本物流センタの設立







機器と消耗品の同梱 出荷で物流コスト削減

グループ全体

- •ERPのグローバル展開
 - ・アメリカ、欧州、中国、中東は 導入済
 - ・新興国に順次導入予定

日本光電コリア

日本光電インディア

日本光電 シンガポール 日本光電メキシコ

日本光電ブラジル

•本社-国内支社支店間 業務のスリム化

3) 通期の業績見通し

	前期実績 2018/3	当期予想 2019/3	増減率 (%)	(単位:百万
売 上 高	174,249	180,000	3.3	
国内売上高	128,144	130,700	2.0	
海外売上高	46,105	49,300	6.9	→ 為智
売上総利益 (売上総利益率)	82,759 47.5%	86,800 48.2%	4.9	
営業利益 (営業利益率)	14,517 8.3%	15,000 8.3%	3.3	
経 常 利 益	14,501	15,000	3.4	
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,154	10,300	12.5	
海外売上高比率	26.5%	27.4%		
平均レート		(期初の想定)		(下期)
米ドル	111.0円	105円		105円
그 - ㅁ	130.0円	130円		130円

单位:百万円)

→ 為替影響除く:+9%

【地域別海外売上高】

	前期実績	2019	2019/3予想			
	2018/3	期初	11月2日修正	(%)		
米 州	22,000	23,400	23,600	7.3		
欧 州	8,462	9,100	8,600	1.6		
アジア州	13,634	14,100	14,600	7.1		
その他	2,008	2,700	2,500	24.4		
海外計	46,105	49,300	49,300	6.9		

4) 通期見通しの要因分析



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

	前期実績	2019/3予想			増減率(%)		
	2018/3	期初	11月2日修正	構成比(%)	-6 // 9		
生体計測機器	39,323	40,200	40,500	22.5	3.0		
生体情報モニタ	59,229	62,500	62,800	34.9	6.0		
治療機器	32,892	33,600	33,400	18.6	1.5		
そ の 他	42,804	43,700	43,300	24.0	1.2		
売 上 高 合 計	174,249	180,000	180,000	100.0	3.3		
(ご参考)							
消耗品・保守サービス	75,505	78,100	78,200	43.4	3.6		

為替感応度の概算値(年間)

			売上高	営業利益
米	ド	ル	3.0億円	1.1億円
ュ	_		0.5億円	0.2億円

3

当社の経営戦略

中期経営計画 TRANSFORM 2020

高収益体質への変革

基本方針

- 1 高い顧客価値の創造
- 2 組織的な生産性の向上

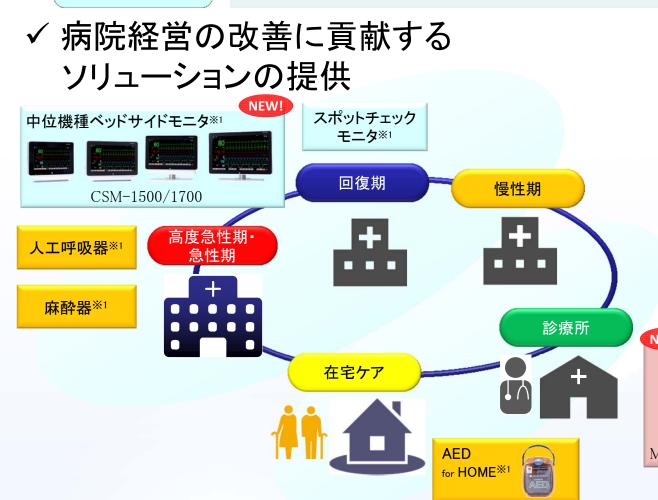
6つの重要課題 地域別事業 コア事業の 新規事業の 展開の強化 さらなる成長 創造 技術開発力の強化 世界トップクオリティの追求 企業体質の強化

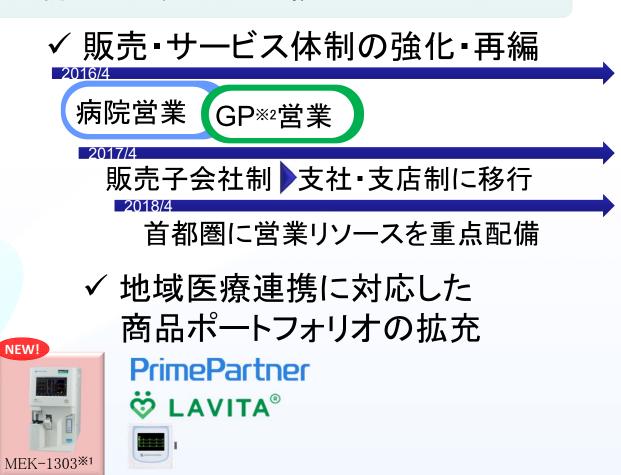
人財育成・組織風土改革

地域別事業展開の強化

日本

高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築





※1 CSM-1500/1700、MEK-1303は発売済。その他は2018年度下期発売予定

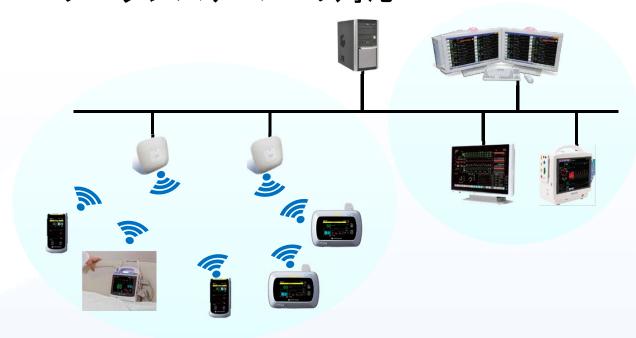
アメリカ

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

✓ 医療の質と効率の向上に貢献する ソリューションの提供



- ✓ 現地開発体制の強化 NKUSラボ
- ✓ ワイヤレス技術を活用した大規模ネット ワークシステムへの対応



収益改善に向けた取り組み 2019/3期

・モニタ新製品の投入





CSM-1500/1700*





スポット チェック **干二タ**※

- ・インストール体制の強化
- ・モニタシステム設置料金の適正化

※2018年度下期発売予定

新興国

新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

✓ 新製品投入による提案力の強化

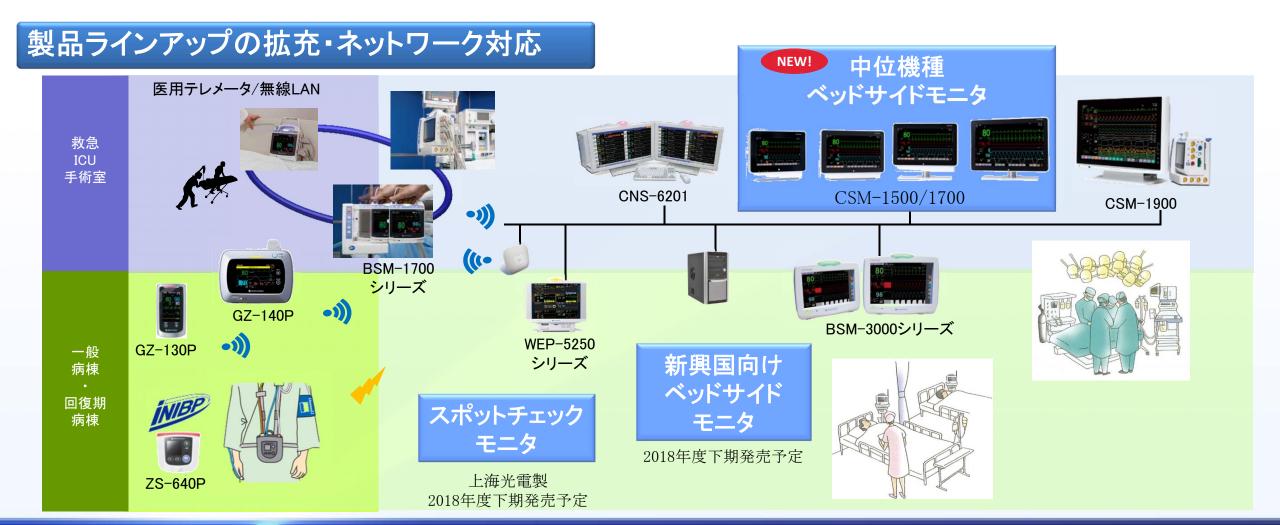


※ CSM-1500/1700は発売済。他は 2018年度下期発売予定

コア事業のさらなる成長

在宅ケア 救急医療 検査・診断 リハビリ 生体情報 臨 脳神経系群 モニタリング事業 床 センサ技術 検査機器事業 循環器検査 機器群 synEC 18 治療機器事業 検体検査機器 消耗品・サービス事業 IT ソリューション事業

✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に貢献するモニタリングソリューションの提供



・モニタ本体と入力箱

自由なレイアウトが

が分離

可能

競争力の高い製品の投入

救急

手術室

ICU

CCU

病棟

中位機種ベッドサイドモニタ 12.1 inch 15.6 inch 15.6 inch 19 inch CSM-1501 CSM-1502 CSM-1701 CSM-1702 ーー体型 — 一分離型 —

上位機種



CSM-1901

上位機種CSM-1901の継承

・快適な操作性 G-Scope機能

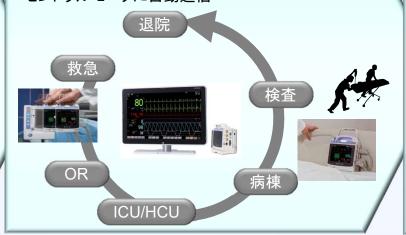


・診療・治療に役立つ直感的レビュー画面 血行動態グラフ



シームレスモニタリングの実現

・搬送中のバイタルデータは、ホストモニタ接続時にセントラルモニタに自動送信



独自機能による高付加価値化

- ・EEGヘッドセットで 脳波モニタリング (救急、ICU等)
- ・ベッドサイドモニタで 迅速な超音波画像診断 (救急等)

臨床検査機器事業

✓ コア技術の融合によりモニタの機能を拡張、簡単、スピーディな検査を実現

脳波モニタリング

• ベッドサイドモニタCSM-1700とEEGヘッドセットの連携 (救急、ICUでのNCSE*の早期発見をサポート)

・簡単な装着で、 迅速に脳波を測定

・Bluetooth®で送信



2018年度下期対応予定

ベッドサイドモニタで 脳波モニタリング

世界各国でPR





2018年10月 欧州集中治療学会 実演デモ

※非けいれん性てんかん重積状態(Nonconvulsive Status Epilepticus: NCSE) 原因不明の意識障害の1つ。けいれんを伴わないため、発作が起きていることが分かりにくい。 早期の診断・治療が重要

ポイント・オブ・ケア超音波

• ベッドサイドモニタCSM-1700に接続 USBで接続 (FAST*など救急での迅速な超音波検査をサポート)



超音波画像診断装置 TUP-C035J

専用タブレットPCに接続するとポータブルエコーに



※Focused Assessment with Sonography for Trauma 救急の外傷患者に対して、心嚢腔、腹腔、 胸腔の出血の有無を確認するため行う迅速簡易超音波検査

治療機器事業

✓ 除細動器・AED市場におけるリーダーポジションの確立

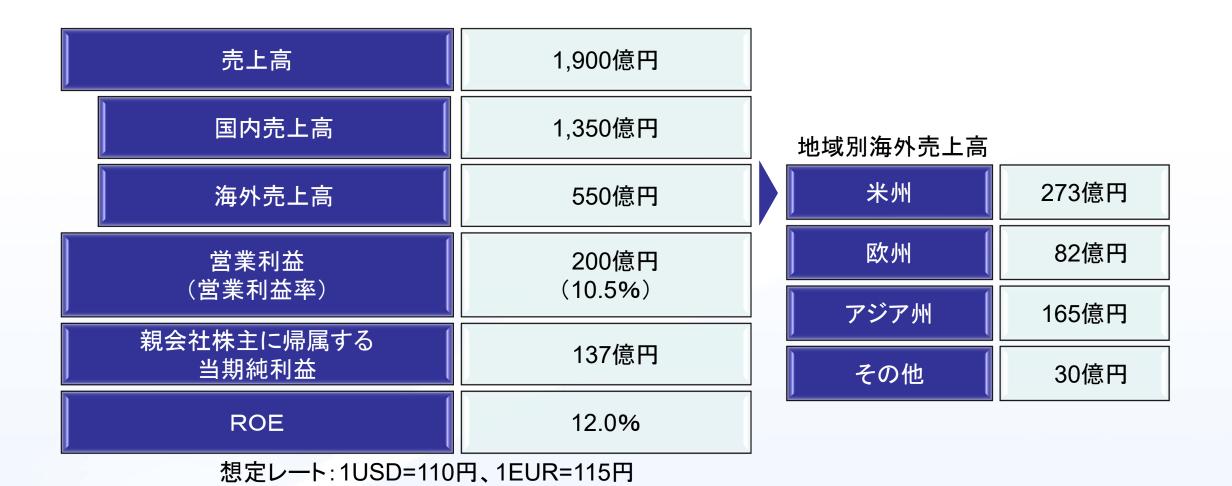


✓ 人工呼吸器、麻酔器事業の早期立ち上げ



気管切開を行わない人工呼吸管理

経営目標値(2020年3月期)



利益配分の基本方針

成長投資

将来の企業成長に必要な投資を継続

研究開発

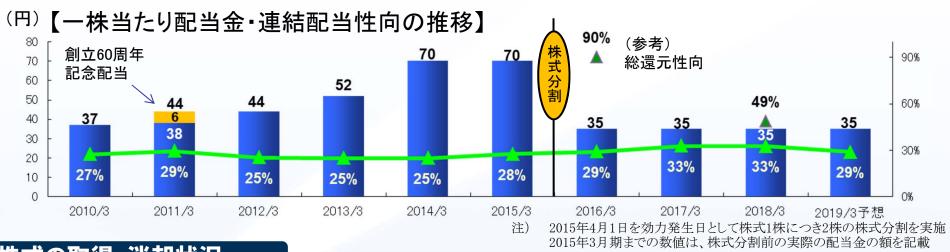
設備投資

M&A、提携

人財育成

株主還元

- ✓ 長期にわたって安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標
- ✓ 配当を重視し、自己株式の取得は機動的に検討



自己株式の取得・消却状況

2018/3/2 **50万株を取得**



2018/5/21 **100万株を消却**



自己株式保有:357万株

(持株比率:4.0%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に 関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、 業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提 としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因 の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があります ことをご承知おきください。

> 【担当部署】経営戦略部 【連 絡 先】TELO3-5996-8003